

東山花大より

[YMCA東山荘は創立108年]



カイドウの花(4月16日)。今年は例年よりも2週間以上早く春がやってきた。

春になりました

.....新鮮な気持ちで

この3年間はコロナで始まりコロナで終わるという状況でした。常に手指消毒、三密回避、換気等を意識しました。徐々にですがコロナが収まりつつあります。まだ気は許せませんが人びとが街に繰り出すようになり活気が出てきたようです。

YMCA東山荘は歴史ある施設ですが、ご来荘者がより快適に過ごしていただけるように前年度末までに何か所かの大きな工事を行いました。本館前駐車場は雨天時に泥が跳ね、雨が川のように流れていました。そこで環境に優しい舗装を行いました。2号館客室、6号館会議室は、環境を整え、ワーケーションにも対応できるようにしました。施設内照明のLED化も順次進めています。その他、5、6号館の室内整備、体育館屋根の修復をしました。

また現在、YMCA東山荘は再生可能エネルギーを導入し生産者の顔が見える電気を使用しています。これは月に杉の木約1万本のCO₂削減になります。2023年度より太陽光パネルでの発電を開始し、荘内使用電力の約4分の1を賄える予定です。今後も様々な場面とSDGsに取り組んでいきます。地域では関係ある団体との連携を保ち、共に協力して活動を行います。

3年間、多くの困難がありましたでしたがきっといつかコロナの時代を振り返り、乗り越えた喜びを覚える時が来ると思います。その時のためにも前に進みます。皆様のお支えに感謝し2023年度をスタートしました。

富山が
見えている
8
YMCA東山荘所長
森田 義彦

東山荘と私

元所長 阪田 震一

昔と今の東山荘をよく知る元所長の阪田氏から、主に所長時代に取り組んだことについてご寄稿いただきました。

東山荘との出会いは今から60年前1963年にさかのぼる。最初は高校の時のハイY夏季学校で、さらに大学での夏期学校など（その時代はまだ木造の建物だった）。YMCAに就職してから、全国YMCA青年研修会や東京YMCA英語学校での新入生オリエンテーションキャンプ、同盟に移籍してからも外国人英語教師対象のセミナーなど、東山荘との出会いは切れ目なく続いた。

そして30年前、1992年に東山荘への移動を命じられ、これまでの点としての東山荘とのかかわりが、面が変わった。家族6人で今はなきA住宅に引っ越した日は雨で、玄関前の狭い道に引っ越し屋のトラックが入れず大変苦労したのでよく覚えている。

それから生活の基盤が東山荘に代わり、多くのことに気づかされたが、従来の宿泊事業のみ

では将来生き残れないと感じていた私は、新規のプログラム開発の必要性を特に感じていた。

そんな時に、たまたま施設の職員として応募してきた白鳥君に出会った。彼は都会の大学に嫌気がさし、富士山の近くで仕事をしたいと願い、冬の富士山頂上に生鮮食品などを運ぶ強力（ごうりき）をしていた。しかし、身体を傷め、強力の仕事をあきらめ、富士山の見える場所での仕事を希望し、東山荘に応募してきた。

彼の富士山への情熱と自然に対する深い洞察力は、このまま施設に置くのではもったいなかった。東山荘にとって必要な富士山プログラムを開発するスタ



フロント職員と共に所長時代の著者。

ップとして、10年間の間に開発するように命じた。

彼のリーダーシップには目を見張るものがある。YMCAのスタッフは何をやらせても器用にこなすが、そこはプログラム屋でしかない。ところが彼は常に本質的なアプローチをする。

例えば、冬のプログラムの富士山でのそり遊びを計画している場合、何回も現地を訪れ、一番適切な場所を選び、前日ぎりぎりまでその準備をするので、どんな場合でも失敗はない。

ただ、そのために、（新しいことをはじめの場合は大抵そうであるが）当時の他の職員からはなかなか理解が得られず、議論を重ねることもあった。

しかし、彼の富士山への情熱は冷めることはなく、富士山を中心としたネイチャープログラムは、年々利用者が増え、今や東山荘の目玉プログラムに成長した。このような教育的なプログラムは、当時、公益性の重要性が指摘されていた日本YMCA同盟が公益財団法人格を取得するのにも寄与した。

もう一つ、長年検討されてきたが実現が難しかった課題が食事提供システムの改善である。利用者のアンケート結果から食事が冷たいという意見があった。調べてみると当時幼稚園児の食事は、厨房設備の事情もあり、全員分を先に作って配膳を済ませてからの食事だったのだ、特に卵焼きなどは硬くて冷



旧本館1階ロビーと神田会館から移設された暖炉。

たかった。

早速、食事改善のための委員会を同盟に設置した。食堂スタッフも委員に加わってもらい、食事改善の基本として「温かいものは、温かく、冷たいものは冷たく提供する」ことを目標とした。この委員会に数名の専門家や厨房メーカーにも声をかけ加わっていただき、1年間かけて検討した結果、現在のビュッフェ方式を決定した。しかし、ビュッフェ方式にするためには、食堂全体のレイアウトの変更や多くの機材の導入が欠かせない。多額の費用が必要で当時の東山荘にはそのような資金はなかった。そこで、最長リス7年間を利用し費用をまかなうこととした。厨房機器納入業者の協力もあり、すべてを予算内でまかなうことが可能となった。これにより、残飯の量が飛躍的に減った。

また、このビュッフェスタイルにより、目の前で食事を提供するの、何が受けるのかそう

でないのかが一目瞭然となり、客層に合わせたの食事提供が可能となった。

最後に、東山荘のシンボルに広いロビーがある。本館は1階と2階に、1号館（斎藤記念館）と2号館にも広いロビーがあり、利用者の憩いの場所となっていた。本館には東京YMCAの神田本館を処分したときに暖炉（マントルピース）をこのロビーに移設した。火は炊けなかったが、食事時間には多くのお客さんが集まり、その賑わいが、東山荘の雰囲気独特のものにしていた。1号館と2号館のロビーには本物の暖炉がある。冬の寒い時期の暖炉の火は集う者の心をも暖める東山荘の名物である。しかし数年前に本館が建て替えられ、そのようなロビースペースがなくなり懐かしい雰囲気は失われたことは残念である。今後の進展を期待したい。

東山荘はまもなく110歳になる。驚くべきことであるが、それも、所長以下職員一同がその時々の課題に向き合い、知恵を出して乗り越えてきたからだと思う。ここ何年かはコロナ禍という未曾有の危機に直面した東山荘と思うが、全国YMCAの研修拠点としての役割を今後とも長く持ち続けることを願っている。



〈感謝〉ナラ枯れ募金 寄付者ご芳名

※複数回ご寄付いただいた方は総額で表示しています。

※順不同、敬称略。

【50万円以上】

(株) 芝誠

【10万円以上】

ひかりの子保育園、中村次郎、櫻庭亜紀恵、岩山貴敏、丸島慶子、勝又貴恵子、高橋啓子、山口政紀、毛利俊雄

【5万円以上】

田原績、勝田正佳、伊藤幾夫、第55回年末年始聖日礼拝、代田幼稚園、新野知子、小峰理孝、原田明久、高田剛資、井澤思乃

【1万円以上】

福岡孝昭、池田道則、山田公平、山根誠之、北川貴英、加部公子、伊東園子、阪田震一、比田井昌英、直井育子、村野繁、笈川光郎、一色ほか、青樹和夫、山田秀光、篠原奈緒美、諏訪治男、島田茂、大岡琴美、福田愛、福田丈、第55回年末年始バザー、郡恭子、鶴沼めぐみルーテル幼稚園第71回卒園生、岡西博司、櫻庭学、川井敏行・恵美子、高塚典子、桑田隆明、堀口廣司、檜工業株式会社、小曾戸恒夫、佐々木泰弘、齊藤實、鶴沼めぐみルーテル幼稚園、岩瀬百合香、戸嶋章子、錦織直樹、花園朋美、古泉麻里、小山哲夫、小林了、吉牟田空、勝保菊雄、丸山裕一郎、三上英一、坂口順治、笠井康助、第55回年末年始ワイズ、信夫哲夫、羽鳥玲子、義村小夜子、光永尚生、鈴木昭子、内野伸亮、社信明、黒崎久美子、杉崎賢輔、中富額隆、松本勝、武藤直二・智子、吉牟田正弘、藤井辰男、寺島恭子・海、朝野美佳、八木武志、野崎雄介、加林譲、吉崎勇、並木信一、山口直樹、横田知哉、林亮兵、伊藤大輔、岩辺睦・壮平、飯島隆輔、小寺裕子、ブーランジェリード、愛星幼稚園、都築文理・寛源、杉浦真喜子、武田紗依、武田康平、山口凛、清水景、関口奏、田中博之、宮崎幸雄、大谷桃子、船越美美子、徳久俊彦、桐山潤、大和田浩二、阪田祥章、盛岡美貴、杉山菜津美、森田義彦、東山荘フロント一同

【1万円未満】

杉山和代、勝又美穂、宮崎義昭、花見デイキャンプ2022、松田温枝、立道明子、村上凛花、泉水由香子、ダニエル・ヘラー、佐藤慶秀・優貴子、山崎往夫、中澤秀佳、櫻井多喜男・理恵、菊地拓、中野有子、菅野静香、勝又純拓、上阪喜久子、森田伸子、佐々木悟、石田恩、村上翔星、井上修三、中内俊一郎、渡辺淳、長田和子、野々垣健五、宮城明美、星野太郎、武井陽一、麻生哲平、石坂安、入江保夫、吉田和彦、泉文雄、水村仁美、森岡廣茂、堀口佳哉、七尾美枝子、白鳥富士男・りき子、松本法判、布宮主子、松本小春、(株)伊藤写真、六本木太、渡辺聡介、清水昂琉、鈴木健司、野村武夫、山田博子、林辰也、根上亘祐、菊地一成、森川結太、安東邦昭、米山敏裕、松本京、池島峻文、軽部憲吉、勝又茉香、芹澤晶子、篠澤忠彦、北山郷子、近藤睦子、米村俊、長澤奈子、屋良政旦、朝山令次郎、今泉潤、黒澤伸一郎、片山優花、世理花、浜野昌保、浜崎正三、住田学、遠藤成夫、倉石昇、上野智子、露木寿恵、工藤正剛、山田敬斗、一木隼、吉原清司、盛山季己江、杉山智恵子、鶴田ゆり、藏本哲夫、佐々木健二、滝口敦子、遠藤舞、山田仁、小倉正人、加藤由香里、藤澤幸伸、野木千賀世



伐採したコナラの木を使いシイタケ作りを始めました。予想以上に豊作で、昨秋から子どもたちを中心に多くの方にシイタケ狩りをお楽しみいただいています。

2020年12月より開始しました「ナラ枯れ募金」に多くの

「ナラ枯れ募金」終了報告 「協力ありがとうございました。」

総額4,580,524円

方々から温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。募金は、当初の目的を達成したため、本年3月31日をもちまして終了させていただきました。この間、213件の方々より、総額4,580,524円のご寄付をいただきました。奇しくも「ナラ枯れ」とほぼ同時期に発生した新型コロナウイルスのパンデミックにより極めて厳しい経営を強いられてい

たYMC A東山荘にとりまして、当初の目標金額300万円を大幅に上回るご支援に、財政的に助けられたことはもとより、職員一同大いに勇気づけられ励まされました。伐採処理した木々は累計200本を超え、伐採費用は今年3月時点で総額約670万円に及びましたが、皆様からのご寄付と御殿場市からの補助金(計60万円)も活用し迅速に処理することができました。「ナラ枯れ」は現在もなお(関東一帯の)広域で猛威をふるっており、荘内にもまだ被害木が見られます。引き続き「YMC A東山荘友の会」募金にご協力いただければ幸いです。

～「東山荘だより」探訪～ 過去の紙面から

黙想館(1975年)



▲黙想館の完成を伝える「東山荘だより」(1975年6月15日号)



▲正面には3.4m×2.5mの一枚ガラス。まるで一幅の絵画のように富士山を望むことができる。2018年にはガラス作家・林知子氏制作によるスタンドグラスが両脇に嵌められた。



▲黙想館の下にも遊歩道が整備されている。涼風が吹き、夏は特に気持ちが良い。

黙想館は、東山荘創立60年に当たる1975年に竣工しました。当時発行された「東山荘だより」には、「過去60年の歴史の中で、ラウンドトップ〔現在の夕陽の丘―編集者注〕の朝夕のつどいを契機として数多くの指導者が生まれ、また、参加者の胸中には、祈りの場を設ける願いが灯りつづけて、今ここに小さいながらも東山荘全体のかなめとして一人静かに自己を反省する静思の場を建設する」といふことになっていました。建設にあたっては1200万円を超え

る募金が寄せられました。黙想館内の壁には今も「われ山にむかいて目をあぐ・・・」の聖句が松前重義氏の筆により掲げられ、その言葉通り、富士山を見上げ、静かに黙想にふける場として機能し続けています。込み入っていた周囲の樹木も整理し、日当たりや見晴らしもかなり良くなりました。今夏も基本的に午前7時から午後7時まで開館します。朝に夕べに静かに祈り、自己を見つめ直し、語り合う場として積極的にご利用ください。



春のプログラムご報告

ネイチャー

プログラム

た青木ヶ原樹海を歩いたり、変化に富んだ3日間でした。キャンプの最後にはささやかな「6年生卒業式」も開催しました。

◎ファミリーデイキャンプ

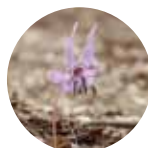
3月12日(日)日帰り

不法投棄されたゴミの山で汚れてしまった富士山の森を綺麗にし、今シーズン最後の「さるボード」(特製ソリ滑り)を楽しみました。直前の呼びかけにもかかわらず20名近い方々に参加いただき、富士山中腹の森に出かけ、ペットボトルや缶など大量に投げ捨てられたゴミをみんなで回収した後、残雪の「さるボード」コースで思う存分ソリ滑りを楽しみました。

◎春のこども遠足キャンプ

3月25日(土)〜26日(月)2泊3日

「歩く旅」の楽しさを仲間と分かち合う「遠足キャンプ」シリーズ。今回のキャンプでは、小学1年生から高校生まで総勢35名の仲間がつどい、東京〜大阪間を結ぶ全長約1700kmの「東海自然歩道」のうち、富士五湖周辺の52kmの道のりを踏破しました。天気は雨時々曇りだったため眺望は得られませんでした。いくつかの山を越えたり、町を抜けたり、鬱蒼とし



カタクリ



ヒトリンズカ

◎春のこどもチャレンジキャンプ

5月3日(水)〜6日(土)3泊4日

「壮大な冒険」に挑む「チャレンジキャンプ」シリーズ。今回は、小学2年生から高校生まで総勢29名の仲間が、富士山の北を東西に延びる「御坂山地」を43km大縦走する旅に挑戦しました。4日間を通して清々しい快晴に恵まれ、360度の大パ



「春のこどもチャレンジキャンプ」での一コマ。急峻な峠道を下る一行。ブナ、カエデ、ミズナラなどの新緑がまぶしい。

森のレストラン 桜ランチビュツフェ

4月2日(日)は毎年恒例の「森のレストラン」特別版『桜ランチビュツフェ』が開催されました。

今年は春の訪れが例年より早く、当日は荘内や東山湖の桜がほぼ満開となった上、快晴にも恵まれ、数多くの方々にご利用いただきました。11時30分のオープン前からお待ちいただくお客さまもいらつしやり、13時には用意したお料理がすべて売り切れとなる大盛況ぶりでした。

東山荘お仕事紹介&2023年度の抱負

客室――

誰よりもパワフルなスタッフ

この春は新しく7名のパートナーさんが加わり賑やかな客室係です。春から夏の繁忙期、大規模団体さんが続くときは全館入れ替えとなることも珍しくありません。すべての部屋の掃除&リネン交換等に加え、公共トイレや廊下の掃除、会議室のセット替えもあります。坂道が多い東山荘は宿舎間の移動も何気に変で、朝から夕方までてこまいです(笑)。でも、コロナ禍を経験した今、久しぶりにやってきたこの「忙しさ」が何故かとても嬉しいのです。皆様の笑顔あふれる快適な東山荘ライフのため今年度も頑張ります。

施設――

何でもこなす東山荘の万能選手

ボイラーや電気、水道設備の保守管理や、荘内の草刈り、剪定から、キャンプファイアー場の整備、トイレの詰まり解消まで仕事はさまざまです。これからは草刈りなどの外仕事のシーズンになります。お客さまで賑わう東山荘では、草刈りができないですが、ケガや事故などがないように注意深く作業を行っています。また、2月に本館駐

✓車場の舗装工事などを行いました。引き続き荘内の設備の改修など計画を立てて進めていきます。お客さまに快適に過ごしていただける東山荘を目指していきます。

プログラム――

「本物の自然体験」を今年も

今年度も変わらず、基本的にはさる・しら・よっちゃん、の3名体制でプログラムをお届けします。気候変動の影響か、富士山や御殿場の天候も年々変化が激しく、自然を相手とする自然体験活動では臨機応変なプログラム変更を皆様にご覧いただくことがあるかもしれません。しかし、「思い通りにいかないことを楽しむ」、それが「生の自然」本物の自然を体験することなのだと思います。安全を最優先に、今年も皆様と一期一会の貴重な経験を分かち合うことができるのを楽しみにしております。

フロント・ナイトフロント――

いつも皆様の前(フロント)に

年々平均年齢が上がるお馴染みのフロントスタッフですが(笑)、今年も誰よりも元気一杯、若さあふれる笑顔で皆様をお迎えします。ご滞在の中何かござ

夏以降のプログラムご案内

ネイチャー

プログラム

【予告】

◎こども完全富士登山キャンプ

8月10日(木)～15日(火)5泊6日

参加費…40,000円(予定)

対象…小中高生

この夏休みは仲間と共に特別な体験と感動を分かち合いませんか。東山荘をスタート・ゴールに、徒歩で完全富士登山を目指します。【1日目】東山荘～須走浅間神社(東山荘泊)【2日目】須走浅間神社～須走口新五合目(東山荘泊)【3日目】須走口新五合目～本七合目(山小屋泊)【4日目】本七合目～山頂(おはちめぐり)～本七合目(山小屋泊)【5日目】本七合目～須走浅間神社(東山荘泊)【6日目】須走浅間神社～東山荘。

※このキャンプは文部科学省の助成事業として必要経費の一部が補助されるため参加費は特別価格です。
*定員に余裕がある場合、部分参加も受け付ける予定です。

これらのプログラムはまた「案内を開始していません」案内ご希望の方は東山荘までお電話いただくか、
nprogram@japanymca.org
までメールをお送りください。



雄大な夏富士を満喫できる富士登山プログラム

◎のんびり楽しく富士山登頂

8月28日(月)～31日(木)3泊4日

参加費…未定

対象…どなたでも

今年で27年目となる当プログラムは、年齢や体力面で不安な方や、一人で参加の方も、みんながそろって、楽しく、安全に登山ができるよう、登山装備の準備段階からサポートし、大家族のような和気あいあい登山を実践します。【1日目】ガイダンス(東山荘泊)【2日目】須走口新五合目～本七合目(山小屋泊)【3日目】本七合目～山頂(おはちめぐり)～本七合目(山小屋泊)【4日目】本七合目～須走口新五合目

◎こどもチャリンコキャンプ

9月17日(日)～18日(月)1泊2日

参加費…未定

対象…小中高生

内容はまったく決まっていますが、初秋の風を浴びながら(あるいは残暑の中)みんなが自転車の旅に出かけましょう。ゆく先々でどんな出会いが待っているでしょうか。

【参加要件】①変速機自転車を持ちこなせること、②上り坂・下り坂を含め安全に自転車走行ができること。



一人でも大人数でも楽しめるさるボードBSS

◎「さるボードBSS」

夏と言えば東山荘オリジナルウォータースライダーの「さるボードBSS(ブルーシートスライダー)」が人気！この夏も土日を中心にオープンデイを開催予定です。さらに今年は、Amazon様からのご寄付を活用し、幅1.8m×長さ55mの特注ブルーシート(正確には緑色なのでグリーンシート)を購入しました。土台となる基礎部分も改良予定。さあ、どんな滑りになるのか乞うご期待！

季節の一品

Seasonal Recipes



春キャベツとツナのペンネ

茹で汁に塩分があるので塩は控えめに、好みで醤油を少々かけると美味しいです。
ペンネは無ければ普通のマカロニやスパゲティでもOK!!
出来れば春(新キャベツ)が美味しい料理です。

材料(2人前)

ペンネマカロニ 120g
ツナ缶 70g
春キャベツ 4枚位
にんにく 少々
鷹の爪 1本
オリーブ油 30cc
バター 30g
粉チーズ 適量
塩・胡椒 適量
浅ツキ 適量

- 鍋に湯をかけて1%弱の塩でペンネを茹でる。
- フライパンにオリーブ油・にんにくすりおろし・鷹の爪を入れて、香りが出るまで炒めて、一度火を止める。(キャベツ食べやすい大きさに切る)
- ペンネが茹で上がる直前にキャベツを加えてザルに上げて水分を切る。
- ②を再び火にかけて、③とツナ・バターを加えて塩・胡椒で味を整える。
- 器に盛り、浅ツキと粉チーズをかける。



食堂店長・料理長
長田 尚弥

研究所

スタッフの学びの場づくりを行います
全国YMCAスタッフ研修の場であるYMCA東山荘。日本

いきましたら、ご遠慮なくフロントまでご連絡ください。実家に帰ったようにホッとできる東山荘であり続けられるよう努めたいと思います。

YMCA研究所では今年も、専門職管理者研修、ステップⅡ、Ⅲを東山荘で開催します。新しい学びを得ること、ともに時間を過ごすことで参加者同士のつながりが育まれることが、YMCAでの働きや一人ひとりの人生の活力となるよう、今年も学びの場づくりを行ってまいります。

客室・羽鳥さんに聞いてみた

— 今までの働きに感謝して退職者インタビュー —

今年3月31日で、客室担当の羽鳥喜和子さんが退職されました。勤続20年以上の大ベテランで「はとちゃん」の愛称で職員からもお客さまからも親しまれた羽鳥さんにインタビューしてみました。「」は編集者による注です。

Q1 東山荘に入ったきっかけは？

お父さんが亡くなって、チラシで募集してたから「入れてください」とお願いして入れてもらったの。先輩もたくさんいてね。「入職するよりも」ずいぶん昔は客室さんも多かったから、みんなでトラックに乗って移動してたとか。すごい時代だったね。

Q2 東山荘で一番お気に入りの場所は？

山菜！(笑) 今よりももっと木がたくさん茂っていて、「職員の中に」庭を整備する人もいたから、よく採ってたよ。昔の本館から見えないように「1号館



勤務最終日は涙のお別れとなった。「また遊びに来てね」。

下の斜面で」隠れて採ったりして、みんなにお裾分けしたりしていたよね(笑)。

Q3 大変だったことは？

教室「のセット」。体育館はとくに椅子や机が重くて。大人数の学校団体さんとかの時はもうとにかく全館貸切で入れ替えたから。「ご飯も早く食べたい！」って主任さんから怒られたりして(笑)。あと1号館のベッドメイキングもツインで壁際だからシーツが入らなくて大変。

Q4 忘れられない思い出は？

お客さんでも職員でもいろんな人と出会ったこと。お客さんからヤマボウシやコブシのこととかも教えてもらった。

Q5 これからの東山荘に期待することは？

基本はありながら時代にあわせて、若い人が活躍する場であってほしい。あと10年、20年見届けたいけどね(笑)。

東山荘愛される羽鳥さんのお話は1時間半にも及びましたが、特に強調されていたのは「人との出会い」でした。紙面には書ききれないほど沢山の方との思い出話を聞かせていただきました。昨年から客室担当として勤務されているミラさん(ウクライナから御殿場に避難されています)と最初に仲良くなったのも羽鳥さんでした。羽鳥さんが大切にされてきた気持ちをスタッフ一同引き継いでいきたいと思えます。(聞き手・阪田)

東山荘ひと口NEWS

ロッジの布団フカフカに

この度、ロッジの敷布団を新しく厚めの物に入れ替えました。ロッジはご家族や小規模グループ等に好評で使用頻度が高いため、布団もすぐに「煎餅布団」のようになってしまいましたが、これでより快適にお過ごしただけだと思います。今後も鋭意客室の改善を進めてまいります。

2号館より明るく

2号館裏手のヒイラギの垣根がかなり繁茂し、日中でも第4会議室等に日差しがほとんど届きませんでしたので、思い切って強剪定をしました。かなり明るい印象になったと思います。さらに杉の枝打ち等も進め、より快適・安全に過ごせるよう整備を進めていきます。

遊歩道ご利用ください

荘内遊歩道「さんぽみち」の再整備を進めています。自由時間の散策などにどうぞご利用ください。夏は特に森の木漏れ日や内寒沢から吹く涼やかな風を感じられて気持ちよく、野鳥たちの囀りも私たちを励ましてくれます。所々にベンチもあります。フロントでマップをお渡しします。

「友の会」募金にご協力をお願い致します。

YMCA東山荘がこれからも、子どもたちや青少年の出会いと学びの場所として魅力あふれる場所であり続けられるように、より充実したプログラムや施設、環境を整えていくための資金を「YMCA東山荘友の会」として募っております。ぜひ多くの方のご賛同とご協力いただきたく、お願い申し上げます。

＊郵便振替

00800-6-66931 公益財団法人日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘

＊東山荘ホームページやフロントでお支払いいただくこともできます。

＊公益財団法人日本YMCA同盟への寄付金は税制上の優遇措置が受けられます。

【編集後記】

◎春が終わったところに届く春号ですが、今年度も頑張って東山荘の「いま」をお伝えしようと思えます。何卒よろしく願い申し上げます。「こんな記事が読みたい」などご要望がございましたらぜひお知らせください。

◎「ナラ枯れ」被害により荘内の様相はかなり変わりました。募金にご協力いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。

◎今春は久しぶりに、多くの学校団体などで活気あふれる東山荘となりました。感慨もひとしおでした。(Y.S.)



1号館が建つ丘の斜面は特に多くのナラ枯れが発生しました。しかし、伐採したお陰で東山湖が一望でき、4月は満開の桜を高みから「独占」できました。

お問い合わせ・お申込み

資料の請求はこちらまで

YMCA東山荘

〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052

TEL 0550-83-1133 FAX 0550-83-1138

E-mail: tozanso@japanymca.org

ホームページ www.ymcajapan.org/tozanso